奈良県立大和中央高等学校(通信制)

| | 教 育 目 標 | 「自律」「敬愛」「進取」の校訓のもと、自主自立の精神をもって自分ができる生徒、自ら進んで目標を定め、それに向かって真剣に努力し、未来 | を切り開いていけ | けるたくましさをもった生徒の育成を | ・図る。 | | 総合評価 |
|--|--|---|---|--|--|---|---|
| 運営方針 | | 通信制の特長を生かし、生徒個々の実態に応じた指導を展開し、基礎学力の定着を図るとともに、自律的な生活態度と主体的に学ぶ姿勢を育てる。 | | | | | |
| 前年度の成果と課題 | | 本年度重点目標 | 具体的目標 | | | | |
| ・単位修得の向上がみられた、引続ききめ細やかな指導を継続していく。 ・文科省の指定研究も計画通りに終えることができ成果を示せた、このことを活かし継続した取組を進めていく。 ・挨拶の励行により、習慣として身に付いてきた生徒が増加している。 ・生徒会活動も活発になっており、交流等も積極的に行っていきたい。 ・順慶まつりへの参加等、地域との連携を伴う学習活動は成果があった。 ・地域連携から通信制で頑張っている生徒の様子も伝わっていると評価をしていただいている。 ・SC や SSW との連携で生徒理解に対する情報共有が進み、生徒支援に繋がっている。 ・進路情報の迅速な提供ができた、引続き関係各所との連携に努める。 | | | ・教育活動全体を通して、規範意識や倫理観を粘り強く指導し、TPOに即した行動がとれるように指導に努める。 ・キャリア教育や進路ガイダンスを推進し、進路意識の向上を図ると共に、進路未決定者の減少に努める。 ・学習指導の工夫充実を図り、生徒の学習意欲の向上に努め、高校卒業という目標達成に向けた支援を行う。 ・支援を要する生徒の的確な把握に一層努め、教職員間の共通理解をより深めながら対応する。 ・「地域と共にある学校づくり」を推進するなど、地域力に学びながら、社会性の育成に努める。 ・生徒が活躍できる学校行事等の工夫、見直しを行う。 ・危機管理マニュアル等の整備を進め、地域の協力を得て学校安全体制づくりを推進する。 ・「命の大切さ」を考えさせる取組を講演会や集会等も活用し展開していく。 | | | В | |
| 評価項目 | 具体目標 | 具体的方策・評価指標 | 白己評価結果 | 成果と課題(評価結果の分析) | 改善方策等 | 学校関係者評 | 価及び改善方策 |
| 教 務 部 | ・多様な生徒たちの個々の願いに対応できる 教育環境を作る。・学習指導の向上を図る。・地域との連携を図り、地域に貢献する事の大切さや社会性を育成を図る。 | ・スクーリングに沢山出席するよう促し、生徒の気持ちを学校に向けさせるように努める。 ・各科目の単位修得率を前年度よりも上昇させる。 ・効果的なスクーリングのあり方について研究する。 ・地域との連携をさらに向上させ、その取り組みが教科科目にも生かせるよう努める。 | | ・生徒はスクーリングによく出席 しているが、規定回数に合わせて 出席する傾向がある。 ・後期の学習活動を充実させる事 が単位の修得につながる。 ・地域との連携はうまくいってい る。 | ・スクーリングの重要性を今年度以上に生徒に伝える。 ・地域との連携は生徒の成長に役立っている。 | 順慶まつり 程の高校生が ことが心強い したい。 | 等で、通信制課参加してくれる |
| 生徒指導部 | ・生徒が自主的な学習活動が行えるように、基本的な生活習慣をしっかり身につけさせ、楽しい学校生活が送ることができるような環境づくりに務める。 ・生徒会活動等を通して、より一層充実した地域活動を行い特に筒井町や近隣との地域交流を深める。 ・多様な問題を抱えている生徒の指導、相談の充実を図る。 | ・登下校の生徒に積極的に挨拶をし、習慣化する。教員が個々の生徒に10人以上挨拶し、10人以上の生徒に話しかける。 ・学校内外の清掃活動や地域交流の行事の参加生徒数を50名以上にし、美化活動や順慶まつりを通して地域住民との交流を図る。また、本校の学習活動に理解を得るように努める。 ・多様な問題を抱える生徒には、保護者、SC・SSW等との連携を強化し常に情報を共有しながら、指導や相談の充実に努める。 | В | ・挨拶ができるようになった。 ・職員室に来る生徒が増えた。 ・教員と生徒の関係が良好である。 ・順慶まつりの内容も例年以上に 充実していた。 ・教師間、スクールカウンセラー 等の連携がうまくできている。 ・生徒会活動も積極的になってい る。 | との連携しなが ら、家庭訪問等を 実施する。 | さな生生努いまな生生が、これではないます。これではな何しいというではいかい。 | 力されているこ る。また次年度 が入学してくる |
| 進路指導部 | ・進路指導体制を強化し、生徒の進路意識を向上させる。 ・進路選択に関わる情報の提供と適切な助言指導を行う。 ・総合学習「つどい②」の充実を図る。 | ・定時制や高進協、労働局との連絡を密にし、進路に関する情報を入手し、生徒に情報提供をおこなう。 ・進路希望調査や担任面談、生徒への日常的な声かけを通じて生徒の進路希望を把握する。 ・総合学習「つどい②」において、自立した社会人になるための自身の生き方や将来について考えさせる。 | В | ・生徒の多様な進路希望に対し、適切な進路情報を迅速に提供できた。 ・面接指導(進学・就職)に関して、生徒が自信を持って面接試験に臨めるよう十分に練習させられた。 ・総合学習「つどい②」で、進路目標を持つ大切さを伝えられた。 | をかけ、また、面談などを通じて生徒の 進路希望を把握するようにする。 | 通信制課程 面でご苦労も | きに卒業してい |
| 保体環境部 | ・心(精神的側面)身とも、常に生徒の健康状態に留意する。 ・多様な生徒が在籍する中で、迅速かつ適切な対処ができるように教員の知識・技能を高める。 ・清掃活動の充実を図りながら、校内外の美化に努め、安全で安心な学校環境を整える。 ・式典の内容を見直し、よりよい式典が実施できるようにする。 ・後援会、同窓会活動等をより活発化させるとともに、広く通信制の現状を知ってもらうよう努める。 | 生法の流れを確実に身につけさせる。また、SHL・SSW・SC と常に情報交換、共有をし、連携を深めて適切な対応に努める。 ・使用教室や廊下の清掃活動、通学路等のゴミ拾いを年間 4 回行い、生徒が学習活動をしやすい環境づくりに努める。また、校門前の花壇も管理する。 ・昨年度の反省や課題をふまえ、式典や後援会、同窓会などの行事を計画し、円滑に進める。 | В | ・健康診断の受診率は97.5%であった。来年度へ向けて、生徒へのプリント配布等を強化する。 ・本年度は、教員対象の救命講習を実施することができなか情できない、SHL・SSW・SCとの情でを強を密にし、適切な指示をきたとの精神面での支援もできた。・清掃活動等を計画的にできた。・清掃活動等を計画的にできた。・式典や行事においては後援ながら実施でき、本校通信制を広報することができた。 | を生徒全員に を生徒、受す。 ・教では、 ・教では、 ・教では、 ・教では、 ・教では、 ・教では、 ・教に、 ・教に、 ・大なたたを、 ・大なたたを、 ・大なたたを、 ・大変に、 | 校門前に 校門前は 大住つなほ 人では 人で感覚を 人権感覚をは | を で で で で で で で で で で で で で で で で で で で |
| 人権教育部 | ・生徒一人ひとりを見つめ、その性格や特性を把握しながら、 生徒が互いの人権を認め合い、自他共に大切にしていく心 を育てる。 | ・人権 HR、講演会、映画会の三本立てで人権学習会を実施する。より多くの生徒に学習会への参加を促すため、文書郵送による案内を各回2回ずつ行う。 | | ・外部講師による人権講演会、人権HR、映画会を実施した。参加型の学習を通して自己理解を深めることができた。 | | | |